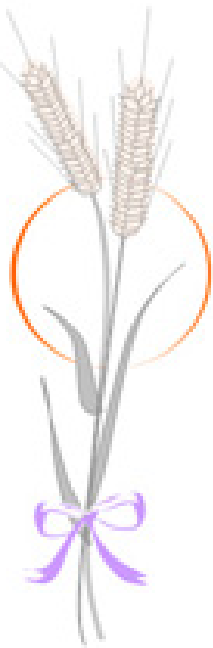


一粒会について



一粒会について

(東京大司教区創立100周年記念誌『一粒の麦』より)

一粒会は神学生の養成を援助するための活動です。

1938年(昭和13)に東京大司教に任命された土井辰雄師の司教叙階式に参列した信徒たちの数人が、司祭召命と養成のために「何かをしなくては」と思い立ったのが一粒会発足のきっかけとなりました。その頃、軍国主義の高まりによって外国人宣教師たちに対する迫害や追放など、教会にもさまざまな圧迫があり司祭召命に危機感を抱く信徒が少なからずいたのです。

当時の一粒会の規則は、司祭召命のために毎日「主祷文(主の祈り)」を一回唱え、祈りのあとに1銭(1円の百分の一)を献金するというものでした。一粒会という名称は「小さな粒を毎日一粒ずつ貯えていく実行、しかも行いを長続きさせるということを考慮に入れての命名」だったそうです。

戦中 戦後、途絶えていた一粒会の活動は1955年(昭和30)頃の復活し、現在に至っています。東京教区の「一粒会」の会員は教区民全員です。会長は岡田武夫大司教です。

神学生養成のために皆さまの心のこもったお祈りと献金のご協力をお願いします。

「一粒会」への献金は各教会で行なっていますが、個人的にもすることができます。
下記郵便振替口座か銀行口座をご利用ください。

郵便振替口座 00100-3-98611 「カトリック大司教区一粒会」

三菱東京[]銀行 江戸川橋支店 店番号060 普通4394587

「宗教法人カトリック東京大司教区一粒会 代表役員 岡田武夫」

東京大司教 ペトロ岡田武夫より

すべての人を神はご自分の御用にお召しになります。神のお召しが「召命」です。召命の中でとくに司祭 修道者への召命のために祈り、献金することを目的として「一粒会」が結成されました。わたくしはこの機会に、なお次のようにお願いします。

召命を考えている者のためにどうか祈ってください。

神学生のために、そして神学生の養成に携わっている者のために祈ってください。

神学生の家族のためにも祈ってください。

召命促進はすべての信者 信徒の使命です。自分自身の召命について考え祈るようすべての人に、とくに若い人々に呼びかけをお願いしたいと思います。一粒会会員の皆様の祈りと献金に感謝します。どうかこれからも一層のご配慮ご協力をお願いします。

司祭の召し出しを願う祈り

主よ

あなたは御独り子イエスの名によって

過ぎ越しの食事を整えて、救いのいけにえを捧げ、

言葉と秘跡によって人々を導く司祭職を定めてくださいました。

いつくしみ深い父よ

教会に、あなたのいつくしみと愛に溢れる招きの声を満ちわたらせ、

わたしたちのうちから救いのみ業に奉仕する司祭を数多く召し出してください。

あなたのみ業が司祭によって告げられ、この世界が聖化され、

すべての人が一つの家族、一つの民としてあなたのもとに集まり、

共に栄光を讃えることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

アーメン。